

事業番号	15 06 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	「探究的な学び」推進事業費			部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課	
				実施期間	H30～	E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係								
重点目標								
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり	2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保					

1 現状と課題

・変化が激しく予測困難な時代に直面する中、「新たな社会や価値を創造する力」を育成するため、大学や企業等と連携した探究的な学び、多様で新たな学びを推進していく必要がある。

・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度末から海外への留学は実施困難となり、また、参加型イベント、フィールドワーク等、校外での活動に制約が出た。コロナ禍において活動の制限が想定される中で、どのように事業を展開するかが課題。

2 事業目的

・高校での学びを従来の知識を蓄えることを中心とした学びから、他者と協働した能動的な活動の過程で考察・理解を深めることを中心とする「探究的な学び」に転換していく。その学びの中で、生徒が「知識及び技能」とともに「思考力、判断力、表現力等」や「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく身に付けるようにする。

・生徒が「探究的な学び」を地域や世界の中で深めることで、自己の在り方や社会との関わりについて、地域に根ざしたグローバルな視野で考え、自ら構想したキャリアデザインを実現できるようにする。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①参加型・探究型のイベントの開催、学びの改革に取り組む学校の展開

・優れた指導者のファシリテートのもとで、各校の探究的な学びの質を高めるために、学校の枠を超えて生徒が一同に会して学びの成果を発表し合い、互いに自らの今後の成長の方向性を確認する機会を提供

・将来地元産業を支える科学技術の資質・能力を培うため、自然科学系部活動、理数科等の生徒同士の交流を通して、切磋琢磨できる場を開催

・先進的、先端的な研究開発に取り組む実践校を「未来の学校」として指定し、支援

・世界で活躍できる資質・能力を育成するため、WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアムにおいて、文理横断的な学習プログラムを開発し、ALネットワーク（高校と外部機関の連携によるアドバンス・ラーニング・ネットワーク）を拡充

②海外留学への機運を醸成し、高校生の海外留學生率を向上

・信州に根差したアイデンティティと将来世界で活躍できる高校生を育成するため、「信州つばさプロジェクト」として県企画のプログラムや個人留学補助により海外留学を支援。

・海外大学進学者による講演会や座談会及び海外大学進学者と直接語り合う講座等を実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	グローバル・社会・ビジネス等の課題に係る大会・コンクールに参加する高校生の割合	%	3.02	2.67	↘	3.83	↗	2.00	達成	国際交流状況調査に基づく数値であり、探究的な学びに係る大会・イベントへの参加者数を経年比較することが可能であるため。	
②	海外への留学者率（高校生）	%	0.01	0.03	↗	0.67	↗	0.02	達成	第3次長野県教育振興基本計画の中でも成果指標として掲げられており、生徒の主体的なグローバルな学びの状況を測ることができ、経年比較が可能であるため。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	417,832	△ 23,172	394,660	329,640	360,827	13.0
R3年度	0	444,047	14,109	458,156	334,444	397,065	13.0
R2年度	0	468,054	△ 36,448	431,606	329,386	410,870	13.0

事業番号	15 06 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	「探究的な学び」推進事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課

6 主な取組実績と成果

①参加型・探究型のイベントの開催、学びの改革に取り組む学校の展開

- ・各校の探究的な学びの質を高めるため、「高校生学びのフォーラム」推進事業において、「マイプロ長野県Summit」として学校の枠を超えて生徒が一同に会して学びの成果を発表し合う場を提供し、33校、101人が参加した。
- ・理数系教育の質の向上と将来の科学技術立国を担う人材を育成することを目指し、信州サイエンステクノロジーコンテスト、課題研究合同研修会及び信州サイエンスミーティングを開催し、延べ36校、394人が参加した。
- ・未来の学校構築支援事業において、実践校として指定する県立高校6校の取組を支援した。
- ・WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業において、拠点校（上田）と共同実施校（松本県ヶ丘）が連携校15校とともに、高校生国際会議を実施した（参加者187名（国内132名、海外55名））。

【マイプロ長野県Summit】



オンライン開催による発表会



オンラインと参集のハイブリッドによる最終発表

②海外留学への機運を醸成し、高校生の海外留學生率を向上

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が続いたものの、渡航制限緩和などを受けて令和4年度から留学支援を再開した。
- ・信州つばさプロジェクトとして、高校生の海外留学の「最初の一步」を支援するため、カンボジア、マレーシアで、県が企画する短期留学プログラムを実施し、計30人の留学支援を実施したほか、個人留学については、行先と期間に応じて8人の留学費用の一部を補助した。
- ・海外大学進学者による講演会や座談会、海外大学進学者と直接語り合う講座を計4回実施し、42人が参加した。

【カンボジアコース】



集合写真



長野県にゆかりのある企業でのインターンシップ

【マレーシアコース】



集合写真



カンボジアの小学校で日本についての授業をする様子

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	グローバル・社会・ビジネス等の課題に係る大会・コンクールに参加する高校生の割合	R3年度推移	↓	R4年度推移	↑	達成状況	達成
・「高校生学びのフォーラム」推進事業（マイプロ長野県Summit）への積極的な参加や各校において探究的な学びが進んでいること等により、指標は改善し、目標を達成した。							
指標②	海外への留学者率（高校生）	R3年度推移	↑	R4年度推移	↑	達成状況	達成
・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、海外留學生率は低迷していたが、令和4年度は渡航制限の解除や信州つばさプロジェクトの一部再開等により留学者数が増加し、目標を達成した。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・探究的な学びを推進するための「マイプロ長野県Summit」など、オンラインに切り替え可能な事業は予定どおり実施することができた。
- ・R2～R4にかけて実施したWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、海外をフィールドとした研修で支障をきたす場面もみられた。
- ・海外留学支援では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、年度後半からの実施に限定されたため、企画の一部実施にとどまった。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・探究的な学びを推進するための「マイプロ長野県Summit」を参集とオンラインを組み合わせながら実施していく。
- ・コロナ禍で制限されていた海外留学支援を再開させ、新5か年計画に掲げる海外留學生率2%（R9年度）達成に向けて、高校生海外留学支援事業「信州つばさプロジェクト」として県企画プログラムや個人留学支援を実施していく。
- ・未来の学校構築支援事業（R5は4年目）により、学びの改革を進める指定校支援を継続するとともに、WWL事業により構築したコンソーシアムを更に展開していくため、オンラインによる授業連携の取組を推進していく。

事業番号	15 06 01	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	「探究的な学び」推進事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	科学教育推進事業		6,220 千円	7,062 千円	6,328 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	科学オリンピック養成講座	直接	ものづくり、イノベーションを支え、世界で活躍できる科学技術人材を育成するため、物理・化学・生物・地学・情報・数学の大学教員による実力養成講座を実施し、自然科学等を学ぶことの面白さを伝えた。また、各種科学コンテストにより、勝ち抜いていくための実力を養成した。 講座7回延べ34人参加		
2	サイエンス・アソシエーション・プロジェクト	直接	県立高校が企画する産学連携等を活用した最先端技術開発についての学習や、関連する科学技術・理科・数学の学習、指導法に関する研修や海外とオンラインを通じた交流・研修を支援した。 国内研修12校、15件		
3	信州サイエンスキャンプ	直接	県内高等学校へのスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業における研究成果の普及を促進するとともに、理数系教育の質の向上と将来の科学技術立国を担う人材を育成することを目指し、信州サイエンステクノロジーコンテスト、課題研究合同研修会及び信州サイエンスミーティングを開催した。 延べ36校、延べ394人参加		
4	スーパーサイエンスハイスクール指定校支援事業	直接	将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の指定校に対する事業支援と指導を実施した。 指定校3校（飯山、屋代、諏訪清陵）		
5	信州みらいクリエイターズ育成事業	直接 委託	（直接）プログラミング教育に関して、プログラミング教育フェロー養成研修を実施し、他の教員を指導できる実力を持つ教員を育成した。 （委託）信州の物づくりを支える人材養成を図るため、小中学生を対象に「信州Makers教室」「信州Makersキャンプ」の開催を民間事業者へ委託し実施した。 プログラミング教育フェロー参加者：16人、Makers教室参加者：43人、信州Makersキャンプ参加者：21人		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	STEAMプラットフォーム推進事業		1,212 千円	2,257 千円	2,145 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州グローバルユースセミナー	直接	文部科学省委託事業「地域における青少年の国際交流推進事業」により、小布施町を会場にサマースクールをオンラインで開催 小布施サマースクール参加者：22人(うち県内生14人)		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	カリキュラム編成支援事業		88,211 千円	90,724 千円	89,080 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	カリキュラム編成支援事業	直接	県立高校において、特色あるカリキュラムを編成し、キャリア形成につながる学びや「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、非常勤講師又は学習支援員を配置 配置数：非常勤講師75校,212人 学習支援員37校,46人		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	学力向上推進事業		9,955 千円	10,630 千円	8,989 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	教育課程改善推進事業	直接	文部科学省主催の各教科担当指導主事連絡協議会等への参加による情報収集及び伝達を実施した。 協議会4回、参加人数延べ88人		
2	高大接続改革対策支援事業	直接	高大接続改革や探究的な学びに向けた各校の取組・実践を推進するために、研究協議会、研修会等の実施と各校の取組に対する支援を実施した。 進路指導研究協議会2回、入試情報システム30校導入		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	「高校生学びのフォーラム長野」と「信州学」推進事業		7,018 千円	6,635 千円	7,929 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	「信州学」推進事業	直接	地域の中にある課題を発見、解決する能力の育成を図るとともに、信州に根差した確かなアイデンティティと世界に通じる広い視野を育成するために、地域に根差した探究的な学びの推進を支援した。 全県立高校で実施		
2	「高校生学びのフォーラム」推進事業	委託	優れた指導者のファシリテートのもと、各校の探究的な学びの質を高めるために、学校の枠を超えて生徒が一同に会して学びの成果を発表し合い、互いに自らの今後の成長の方向性を確認する機会を提供した。また、探究活動の質の向上を目指し、中学生が高校生の発表等の取組を参観したり、高校生に準じた探究学習を行った。 マイプロ長野県Summit 参加校33校、参加者数101人		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	キャリア教育推進事業		800 千円	1,939 千円	2,023 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	キャリアデザイン力育成事業	直接	生涯にわたるキャリアデザイン力を育成し、発達段階に応じた社会的・職業的自立を図るために、就業体験活動等の経費を負担した。 キャリア・チャレンジ・プログラム：損害賠償保険対象校70校、補助対象6,072名分		
2	高等学校教科競技大会派遣事業	交付金	教科競技の振興を図ることで専門性を高めた学びを実現するため、専門高校の全国大会等への参加に係る経費を補助した。 交付先：高等学校教科競技大会に参加する団体 補助対象校：延べ42校、補助対象生徒数：延べ109人		

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
7	グローバル人材育成事業	191,299 千円	187,147 千円	204,726 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業	委託	<p>将来、社会を牽引し、世界で活躍できる資質・能力を有したイノベティブなグローバル人材を育成することを目的として、上田高校をカリキュラム開発拠点校、松本県ケ丘高校を共同実施校として連携校とともに国際会議の開催、大学の先取り履修など、大学や企業などの外部機関とも繋がりながら高度な学びのネットワークを構築した。</p> <p>拠点校（上田）、共同実施校（松本県ケ丘）、連携校15校 高校生国際会議参加者187名（国内132名、海外55名）</p>	
2	「海外での学び」推進事業（信州つばさプロジェクト）	直接 負担金 補助金	<p>（直接）県企画コースの実施に向け、留学希望者向けの説明会を実施した。 （負担金）高校生の海外留学の「最初の一步」を支援するため、カンボジア、マレーシアで、県が企画する短期留学プログラムを実施した。 （補助金）個人留学に対して、行先と期間に応じて経費の一部を補助した。 補助金交付先：県内の高校生</p> <p>県企画2コース計：30名、個人留学補助8名</p>	
3	留学キャラバン・高校生海外研修事業	委託 補助金	<p>（委託）高校生の海外大学進学を促進させるため、海外大学進学者による講演会や座談会及び海外大学進学者と直接語り合う講座等をオンライン・対面で実施。 （補助金）高校生の海外大学進学を促進させるための、国費による学校単位の短期留学プログラムの支援は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 補助金交付先：県内の高校生</p> <p>講演会や座談会4回、参加者42人</p>	
4	信州英語教育ルネサンス事業	直接	<p>児童生徒の英語4技能をバランスよく育成することや英語教員の指導力向上を図るため小・中・高校の英語教員を対象にした研修、研究授業及び県外視察等を実施した。</p> <p>高校アップスキル研修5回(参加者のべ108人)、小中英語教員研修3回(参加者153人)、長野県英語教育フォーラム(参加者56人)</p>	
5	外国語指導助手（ALT）配置事業	直接 委託	<p>（直接）高校生の豊かな英語コミュニケーション力と異文化理解のため、県立高校等へ外国語指導助手を配置する。 （委託）県立高校等への外国語指導助手の配置を業務委託する。委託先：民間事業者</p> <p>A L T配置43人（うち委託業者による配置7人）</p>	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
8	学校芸術文化振興事業費	7,228 千円	20,960 千円	16,208 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	長野県高等学校文化・芸術フェスティバル	負担金	<p>高校生の芸術文化活動の活性化を図るため、県・支部単位で開催される創作活動成果の発表会について、開催経費の一部を負担した。交付先：県高等学校文化連盟</p> <p>支援実績：県大会 延べ464校、471団体、3892人、支部大会 延べ301校、344団体、4043人</p>	
2	高等学校文化振興事業（大会生徒派遣事業）	交付金	<p>高校生の文化活動の、より高いレベルでの成果発表を支援するため、全国大会、ブロック大会に出場する生徒の参加経費の一部を支援した。交付先：県高等学校文化連盟</p> <p>支援実績：全国総文祭参加部門数19、参加全国大会数8、ブロック大会数5</p>	
3	高等学校芸術文化鑑賞事業	直接	<p>定時制・通信制の高校、小規模校が芸術文化鑑賞に触れる機会を確保するため、学校行事として行う芸術文化鑑賞に関する公演料と交通費の一部を支援した。</p> <p>支援実績：22校、2432人</p>	
4	2018信州総文祭を次世代につなぐ文化部活性化事業	負担金	<p>2018信州総文祭開催を契機にレベルアップした文化部活動が継続的に発展するとともに、その成果を普及させるために、技術講習会等の実施経費を負担した。</p> <p>負担先：県高等学校文化連盟の該当する専門部</p> <p>支援実績：2件、講習会：延べ56回、フェス実行委員会5回、延べ859人</p>	
5	ウィーン楽友協会との姉妹提携事業	直接	<p>小諸高校音楽科生徒の中から世界レベルの音楽技術を習得した音楽家を輩出するため、ウィーン楽友協会との姉妹提携を生かし、使節団の派遣を企画したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止した。</p> <p>中止により実績無し</p>	
6	県立学校部活動公式大会PCR検査等支援事業	委託	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、部活動の公式大会に参加する生徒・引率教職員について、PCR検査を実施する経費を負担する事業を実施したが、実績としてはコースが無かった。</p> <p>事業は実施したが、実績無し</p>	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
9	特色ある学校設置事業	0 千円	2,822 千円	2,581 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	未来の学校構築事業	直接 負担金	<p>（直接）「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」に基づき、先進的・先端的な研究開発を行うため、実践校6校を指定し、概ね5年間研究開発に取り組み、検証・評価を行いながら成果の普及を図った（R4年度は5年計画の3年目）。</p> <p>（負担金）国際バカロレアワークショップに教員2人を参加させ、厳格な「ガイドライン」の内容の実際の教育現場での実践方法を習得することにより、新教育課程の充実を図った。</p> <p>負担先：国際バカロレア協会</p> <p>未来の学校実践校6校（野沢北、須坂、飯田風越、木曾青峰、坂城、松本深志）</p>	

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
10	県立学校修学旅行取消料等支援事業		68,024 千円	62,001 千円	20,818 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県立学校修学旅行取消料等支援事業	補助金	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、修学旅行等を中止した県立学校の保護者が負担するキャンセル料等を助成した。 補助件数：県立高校延べ49件（校）、1,474人		